

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

リサイクルリングで地球環境の未来を創る。木質廃棄物のマテリアルリサイクルを通じて地球温暖化改善に取り組む。

2 中長期の経営戦略

1. リサイクル収益モデル

廃材からチップを生産し佐倉工場等でパーティクルボード製造。高い工場稼働率維持と使用済みPBの再資源化を実現。

3. 新規顧客開拓

木質廃棄物確保と新商品「壁武者」等長尺構造用パネル販売拡大。新設住宅着工戸数60万戸台時代に対応。

2. 物流・運送事業

グループ各社で一般貨物運送事業および廃棄物収集運搬事業を展開。資源循環実行のための盤石な収益モデル構築。

4. 環境負荷・コスト低減

多品目生産可能な佐倉工場稼働率向上。石化製品接着剤使用量削減と環境負荷低減・コストダウン実現。

3 対処すべき課題

① 経営環境への対応

- ・円安やウクライナ情勢、米国関税など先行き不透明な状況への対応
- ・エネルギー価格高止まり・原材料価格上昇への対応
- ・景気に影響されない持続的な収益確保

② 事業成長・競争力強化

- ・木質廃棄物の安定確保
- ・生産性向上と収益構造改善
- ・研究開発および人材確保と育成

③ 組織・ガバナンス強化

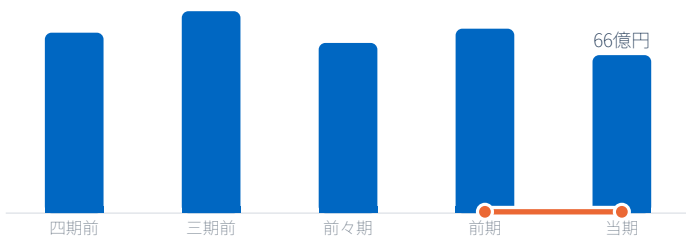
- ・安全に関する取り組み推進
- ・従業員の意欲能力向上と働き方改革
- ・コンプライアンスおよびコーポレート・ガバナンス充実

面接で使えるポイント

- ・パーティクルボード製造を軸とした木質廃棄物マテリアルリサイクルで地球温暖化改善に貢献する事業モデル
- ・新設住宅着工戸数60万戸台時代という市場環境変化への多品目生産での対応戦略
- ・一般貨物運送・廃棄物運搬事業で資源循環を実行する統合型ビジネス展開

証券コード 7815

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
木質廃棄物のリサイクルを中核とした循環型環境ビジネスを展開する企業

主力事業・セグメント

- ・その他製品（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・将来性評価は晴れ

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
66億円営業利益率
▲1.2%財務健康度
26点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 35.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
504万円

その他製品内 83位/105社

平均年齢
47.0歳

その他製品内 10位/105社

平均勤続
10.0年

その他製品内 79位/105社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

